

応募要領

2024年度SSH科学人材育成枠「高大接続とっきんとっきんへの道」へ参加するチーム（1チームあたり2～4名）を募集します。各校から何チームでも応募可能です。この企画は、協同と共創を通じてステージを駆け上がり、最終的に海外で研究成果を発表するものです。下記の要領で応募してください。2024年度の高校1年生を募集の対象とします。多くの参加チームをお待ちしております。

記

別添の「SSH重点枠-2024- 1st stage について」にしたがって応募してください。応募締切は2024年5月1日です。

1st stage ときときへの登竜門

定員) 無制限 対象) 2024年度高校1年生

2nd stage 以降に進むための最初のセレクション。チームや個人で課題に挑戦し、2nd stage 進出を目指そう！

※名古屋の方言で、尖っているものを「ときとき」、最上級を「とっきんとっきん」と表現します。

1st stage 以降の流れ

2nd stage

定員) 30 グループ予定

日時) 5月25日(土) 午前・午後
6月1日(土) 午前・午後

専門家による講義や実習(5回程度)を実施。種々の学問分野からの発想をインターディシプリナリーに議論。レポートや実習内容を基準として3rd stage 進出者選考。

費用) 会場(名古屋大学教育学部附属中・高等学校)までの交通費自己負担。

選考

3rd stage

定員) 10 グループ予定

日時) 8月上旬2泊3日予定

宿泊型フィールドワーク(FW)を実施。フィールド調査を通じて課題発見や分析等を。参加者のプレゼンテーションを実施しAdv Stage 進出者選考。

費用) FW先までの移動費および宿泊費は主催者負担。集合場所(名古屋大学教育学部附属中・高等学校)までの交通費および宿泊中の食費、保険等は自己負担。

選考

Advanced Stage

定員) 5 グループ予定

日時) 高2～高3にかけて
各グループ10回程度を予定

3rd stage で受入れを表明した名古屋大学、岐阜大学の研究室で研究を実践

費用) 名古屋大学、岐阜大学までの交通費は自己負担。



名古屋大学

岐阜大学

選考

希望者全員 Global stage 1 へ

Power up stage 海外

Global stage 1

世界の大学での講義をオンライン受講

定員) Advanced Stage の5グループ
3rd stage から選考

日時) 10月14(月祝)、20(土)、27(土)、
11月4日(月祝)、9日(土)
各回120分を予定(時刻未定)

選考

Global stage 2

海外での研究成果発表！(アメリカまたはシンガポール)

定員) Global Stage1 から3グループ選抜

日時) 3月を予定

費用) 現地までの航空運賃は主催者負担。海外での宿泊代、食費、航空運賃以外の渡航に関わる費用等は自己負担。

※個人が負担する費用は予定ですので、変更になることがあります。
※開催日時は予定ですので、変更になることがあります。

SSH コンソーシアム TOKAI

接続大学

名古屋大学 岐阜大学

幹事校

名古屋大学教育学部附属中・高等学校

参画校

愛知県

県立旭丘高等学校
県立一宮高等学校
県立瑞陵高等学校
県立半田高等学校
県立明和高等学校

名古屋市立向陽高等学校
金城学院高等学校
名城大学附属高等学校

三重県

県立津高等学校
県立四日市高等学校

岐阜県

県立大垣北高等学校
県立加納高等学校
県立岐山高等学校
県立岐阜高等学校
県立岐阜北高等学校
県立長良高等学校

お問い合わせ 名古屋教育学部附属中・高等学校
052-789-2680(職員室) もしくは nkf@highschl.educa.nagoya-u.ac.jp
三小田博昭(さんこだひろあき)まで

SSH 重点枠-2024- 1st stage について

1st stage ～ときときへの登竜門～

■ 1st ステージ概要

文理が融合した非定型課題にチームで取り組む

■ 対象

SSH コンソーシアム TOKAI(SSTC) 参画校生徒 高校生 1 年生

■ 応募条件

同一の学校の生徒 2～4 名までのチームを編成し、応募してください。
申込は、学校の先生の許可を得て、チームの責任者が行ってください。

■ スケジュール (2024 年)

- ・ 4 月初旬 : 1st ステージ申込開始
- ・ 5 月 1 日 (水) : 1st ステージ申込締切
- ・ 5 月下旬 : 責任者に審査結果を送信

■ 申込・提出方法

次の Google form から提出 (5 月 1 日 23:59 まで)

<https://forms.gle/LJHNdMNf85p44AeW9>



課題提出用 QR コード

■ 審査基準

- ・ 論理性: 理にかなった順番や根拠に基づいて論じているかどうか
- ・ 柔軟性: さまざまな視点やアイデアを取り入れ、柔軟に考えているかどうか
- ・ 表現力: 自分の考えやそのプロセスを相手に分かりやすく伝えているかどうか

■ 課題 (問題・記入用紙)

Word 形式 (<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/8LPx6sMTySBdbmN>)

PDF 形式 (<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/7Jq2DR39fa2YWSa>)

■ 募集にあたっての注意事項

- ・ 課題作成は手書きでも PC 作成でも構いませんが、提出は必ず **JPEG、PNG、PDF 形式**のいずれかをお願いします。10MB を超える場合は、別途お知らせください。
- ・ 手書きの場合は、写真を撮るかスキャンしてファイル変換をお願いします。
- ・ PC 作成の場合は、文字の大きさを 10.5pt 以上をお願いします。
- ・ 生成系 AI を利用する場合は、Chat GPT (Open AI) や Copilot (Microsoft Bing) などがあります。利用する場合は、著作権や個人のプライバシーに配慮してください。

Mさんは、愛知県の山岳地域 X に住んでいます。Mさんは、地域 X に対し、人口の減少や活気がなくなりつつあることが課題であると感じています。そこで、学校の課題研究で地域 X が直面している現状と打開策の立案に取り組むことになりました。目標は、年度末に地域 X の市長に提案を行うことです。課題研究に取り組むにあたり、まず、文章を作成する機能のある生成系 AI（以下、生成 AI）に下記のような質問をしました。

以下は、Mさんと生成 AI のやりとりです。

Mさんの質問

私は高校1年生で、愛知県の山岳部にある地域に住んでいます。現在、年々人口が減っており、地域に元気がなくなっています。そこで、学校の探究の時間を利用し、地域活性化策を考え、市長に提案することになりました。住んでいる地域の人口が減っている原因と地域活性化策を考えてください。

生成 AI の回答

人口減少の原因

- 1. 少子高齢化:** 年々高齢者の割合が増加しているため、若い世代の人口が減少しています。
- 2. 若者の流出:** 若者が都市部や他の地域に就職や学業のために移住していることがあります。
- 3. 雇用機会の不足:** 地域での雇用機会が限られている場合、若者が他の地域を選ぶ可能性が高まります。

地域活性化策

1. 観光振興:

- 地域の観光資源を活用して観光客を呼び込むことで、地域経済を活性化させましょう。観光名所の整備やイベントの開催などが考えられます。
- 例: 田んぼアートや伝統的な祭りの PR、観光ツアーの企画など。

2. 雇用創出:

- 地域内の企業と連携して雇用機会を増やすことが重要です。新しい産業の育成や外部からの企業誘致を検討しましょう。
- 例: 地域特産品の販路拡大、地域産業のデジタル化など。

3. 若者の定住促進:

- 若者が地域に残りやすい環境を整えましょう。住宅支援や教育施設の充実、交流イベントの開催などが考えられます。

4. 地域資源の活用:

- 地域の特産品や文化、歴史的な遺産を活用して、地域の魅力を高めましょう。
- 例: 空き家のリノベーション、地域の伝統工芸品の PR など。

5. 教育の充実:

- 学校や地域の教育施設を充実させて、若者の成長をサポートしましょう。

これらのアイデアを組み合わせ、地域の活性化に向けて具体的な提案を考えてみてください。

あなたが M さんの立場であったとして、次の各問いに答えてください。具体的に地域を設定しても構いません。

問 1.

このやり取りのあと、更に生成 AI を利用するとしたら、どのような質問をしますか。その質問をする理由と共に答えてください。

問 2.

問 1 での生成 AI とのやりとりと回答も踏まえ、次の問いに答えてください。

(1) 課題研究のテーマ（問い）とそのテーマを設定した理由を答えてください。

(2) (1) で設定したテーマに対し、4 月から夏休みまでの研究計画をレポート用紙 1 枚にまとめてください。できる限り具体的に記述をしてください。問 1 でのやりとり後からの研究計画では、生成 AI 使っても使わなくても構いません。記入用紙の枠内であれば、形式は自由です。

記入用紙

問 1

質問

理由

問 2 (1)

テーマ (問い)

理由

※ 記入用紙にはチームの個人名や学校名などは書かないこと

問2(2) レポート

※ 記入用紙にはチームの個人名や学校名などは書かないこと